

# 北海道森林管理局長 着任あいさつ

関口 高士



この度、4月1日  
付で北海道森林管  
理局長に就任した  
関口です。

私は埼玉県出身  
ですが、北海道で暮  
らす、ということは

これで3回目になります。最初はもう40年近く前  
になりますが、北の大地に憧れて、学生時代の4  
年間に札幌で過ごしました。特に勉強などはした  
覚えはないのですが、自転車で北海道を一周する  
など、ただただ楽しく、北海道と学生生活を満喫  
した4年間でした。

卒業後は、林野庁に入庁しましたが、就職から  
9年後、今度は十勝地域で5年間勤務することに  
なりました。この当時は、国有林野事業全体が厳  
しい改革を行っている時期でもあり、その中で  
様々な事柄が発生したこともあって、私自身も、  
職場全体も大変苦しい時期だったと思います。当  
時私は30代でしたが、職場の仲間や地域の方々の  
理解に支えられ、何とか職務を終えることができ  
ました。この当時支えてくださった方々には感謝  
の念に堪えません。

そして、今回、ということになるのですが、内  
地の人の目から見た北海道というものは、今も私

が40年近く前に憧れていた北海道と変わってい  
ないのではないのでしょうか。豊かな自然、おいし  
い食べ物といったことがまず浮かんでくると思い  
ます。ここで少し残念なのは、我々も農林水産省  
の一員なのですが、農産物、水産物は、おいしい  
食べ物として北海道の誇りとなっていますが、木  
材等の林産物は、木彫りの熊が思い浮かぶくらい  
で、あまり認識されていないのではないかと、い  
うことです。多くの人に「良い木が生産され、色々  
なものに使われているんだよね」と思ってもらえ  
れば、と考えていますし、そのポテンシャルが、  
北海道にはあると思っています。国有林において  
は、木材の安定供給や林業技術の普及等で貢献で  
きればと考えています。

一方で豊かな自然に関しては、北海道の3分の  
2を占める森林なしでは成り立ちません。地球温  
暖化対策や新たに発生が確認されたナラ枯れ被害  
等、課題はありますが、地域と一体となって、こ  
れらに立ち向かっていければと考えています。

私自身は、全然少年ではなくなってしまいまし  
たが、もう一度大志を抱き直して、北海道におけ  
る国有林の管理経営に取り組んでいきたいと考  
えています。北海道森林管理局ともども、ご指導ご  
鞭撻賜れば幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

## ● 略 歴 ●

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 平成 2年 4月  | 農林水産省入省（北海道大学卒業）    |
| 平成 24年 4月 | 林野庁林政部林政課広報官        |
| 平成 26年 4月 | 東北森林管理局計画保全部長       |
| 平成 28年 8月 | 林野庁森林整備部整備課造林間伐対策室長 |
| 平成 30年 7月 | 林野庁国有林野部業務課長        |
| 令和 元年 10月 | 林野庁国有林野部経営企画課長      |
| 令和 3年 4月  | 林野庁森林整備部計画課長        |
| 令和 4年 6月  | 中部森林管理局長            |
| 令和 5年 4月  | 国立研究開発法人森林研究・整備機構理事 |
| 令和 7年 4月  | 北海道森林管理局長           |



国民の森林・国有林